

大久野通信 vol.2

冬野菜栽培、始めました



記録的な猛暑の夏を乗り越え、朝晩は暖房が欲しい季節に突入しました。大久野倶楽部では、冬野菜栽培に着手しています。農業ど素人集団である「大久野倶楽部」が初挑戦の冬野菜に選んだ作物は、「ニンニク」です。夏野菜の時と同様、既に思いは収穫後のことばかり。黒ニンニクの作り方を検索してみたりしています。

INDEX

- ・まずは畝づくり
- ・マルチを掛けて植付け
- ・さらに3週間後
- ・今後の冬野菜の展望

まずは畝づくり

肥料無添加（1）、RBSゴールドのみ（2）、RBSゴールド+硫酸加里（3）の3試験区、2反復の計6畝を準備しました。RBSゴールドは、窒素、リン酸を約4%含む一方で、加里は0.5%未満と殆ど含んでいません。そこで、加里成分を加えた場合の差を試す目的で、（3）を新たに実証に加えました。耕した面積は、畑地の約半分。まだ収穫後のとうもろこしが植わったままの畑が、冬野菜の植付けを待っています。



マルチを掛けて植付け

幅95cm、株間隔15cm、5条植えの黒マルチシートを各々の畝に被せました。ニンニクは、嘉定種を約10kg準備。テレビ情報によれば、タレントの工藤阿須加さんが栽培しているものと同じみたいです。球をばらし1200片、一粒一粒心を込めて手植えました。



早くも発芽！

週末農家の大久野倶楽部です。ニンニ君はどうしているかと指折り数えて最初の週末、元気な芽がコキコキ。ニンニ君凄い！



更に3週間後

更にコキコキです。まだ、試験区での差は見られません。RBSゴールドの窒素成分は、アンモニア態窒素は0.1%、硝酸態窒素は0.05%未満で、殆どはタンパク質の形態です。土壌中で徐々に分解されアンモニア態や硝酸態窒素となり、植物に吸収されますので、遅効性のある肥料と言えます。リンも同様の傾向です。夏場の小松菜、[ジャガイモ](#)、[トウモロコシ等の実証](#)でも、遅れてRBSゴールドの効果が現れましたので、今後どの様に推移するか楽しみです。但し、サツマイモでは、この遅効性が災いし窒素過多によると思われるつるボケが発生しました。果たしてニンニ君との相性は如何に、乞うご期待です。



今後の冬野菜展望

夏野菜の時と同様、八百屋で野菜を買う感覚で冬野菜の種を入手しました。白菜、キャベツ、レタス、大根、ニンジン、春菊、ハウレンソウ、チンゲン菜、九条ネギ、下仁田ネギ・・・、まるで鍋でもやるの？といった品揃え。今年は真冬が楽しみです。